

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 安藤英由樹 副委員長 石井雅博・蒲池みゆき

幹事 水科晴樹・新井田 統・清河幸子 幹事補佐 黒木 忍・菅沼 睦

日時 7月18日(土) 10:00~17:40

19日(日) 10:20~16:40

会場 九州産業大学(福岡市東区松香台2-3-1. <http://www.kyusan-u.ac.jp/guide/map/access.html>)

議題 多感覚, VR心理学, 知覚, 行動及び一般

18日午前

1. サーカディアンリズムと睡眠剥奪に対するバクシオンの頑健性
○小川将樹・伊藤浩史・妹尾武治・松森孝平・樋口重和(九大)
2. マインドフルネス及び心的プレッシャーによるバクシオンの変調
○大塚聡介(山口リハ病院)・小野史典(山口大)・小川将樹・妹尾武治(九大)
3. 心拍変動からのフリッカー値推定 ○千葉昭宏・角田啓介・千明 裕・浦 哲也・水野 理・田中智博(NTT)
4. 他者の顔の表情と年齢が, 印象判断に及ぼす効果 ○新村知里・田中章浩(東京女子大)
5. 会話の理解を促進する表情と注視位置の検討
○高橋麻衣子(学振/東京女子大)・高木幸子・田中章浩(東京女子大)
6. ビデオ講義を対象とした受講者のノートティング動作と理解度の関係
○渡邊栄治(甲南大)・尾関孝史(福山大)・小濱 剛(近畿大)
7. 音声のパワー変動因子から合成した日本語雑音駆動音声におけるモーラ知覚
○岸田拓也・中島祥好・上田和夫・ジェラード B. レメイン(九大)

18日午後(13:40~)

8. 皮膚感覚からの自己運動知覚を前庭刺激との関係から検討(1)一直進運動と振動との比較—
○村田佳代子(首都大東京)・小松英海(慶大)・石原正規(首都大東京)・中野泰志(慶大)・市原 茂(メディア・アイ)・増田直衛(静岡産大)
9. 皮膚感覚からの自己運動知覚を前庭刺激との関係から検討(2)一直進運動方向と風の方向の一致・不一致—
○小松英海(慶大)・村田佳代子(首都大東京)・妹尾武治(九大)・中野泰志(慶大)・増田直衛(静岡産大)
10. EEG計測による聴覚随伴性視覚運動知覚の神経基盤の検討
○寺岡 諒(室蘭工大)・寺本 渉(熊本大)・渡部 修(室蘭工大)
11. The correlation between visual and auditoryvection strengths might suggest the same and basic mechanism in self-motion perception ○Takeharu Seno (Kyushu Univ.)・Hiroataka Sato・Nobu Shirai (Niigata Univ.)
12. 時間順序及び同時性への注意が発声-聴覚間の時間的再校正に及ぼす影響 ○山本浩輔・川畑秀明(慶大)
13. 音読内容・音読速度・遅延時間が遅延聴覚フィードバック条件下での発話に与える影響
○一ノ瀬 裕(九州産大)・能田由紀子(ATR-P)
14. 何が自己主体感を変えるのか—Intentional Bindingにおける割合, 声の感情価, パーソナリティの効果—
○井上照沙・田中章浩(東京女子大)
15. Perceptual latency of auditory stimulus is changed with motor-auditory temporal recalibration
○Yoshimori Sugano (Kyushu Sangyo Univ.)・Mirjam Keetels・Jean Vroomen (Tilburg Univ.)
16. [招待講演] ラバーハンド錯覚中に起こる視触覚入力の処理過程 金山範明(広島大)

19日午前

1. オノマトペが交差・反発知覚に及ぼす影響 ○郷原皓彦・山田祐樹・三浦佳世(九大)
2. 顔と声による情動判断における文化差を生み出す神経基盤
○高木幸子(東京女子大)・原田宗子(生理学研)・定藤規弘(生理学研/総研大)・Huis In't Veld Elisabeth (Tilburg Univ.)・de Gelder Beatrice (Maastricht Univ.)・濱野友希(総研大)・田部井賢一(三重大)・田中章浩(東京女子大)
3. 映画, アニメ中のバクシオンシーンを心理実験で検討する ○徳永康祐・小川将樹・妹尾武治(九大)
4. The classification of paintings by color statistics
○Masatoshi Kitaguchi・Masahiro Wakabayashi・Hiromichi Sato・Tomoyuki Naito (Osaka Univ.)
5. 人工ニューラルネットワークを用いた映像酔いの強度予測に関する検討
○田部田 晋・木竜 徹・棚橋重仁(新潟大)

19日午後(13:10~)

6. 端末操作する手とは異なる手への触覚刺激による押下感呈示手法の提案と評価
○荒井 観・村田一仁・木曾宏顕(NEC)
7. パーソナルスペースのモノへの転移 有賀敦紀(立正大)

8. 鮮明なイメージと残像の関係性 ○廣瀬健司・菱谷晋介（北大）
9. Characteristics of spatial representation of object relations formed from haptics—focusing on the effects of arm movement— ○Ryo Wako・Saho Ayabe-Kanamura（Univ. of Tsukuba）
10. 模倣と創造への芸術的アプローチ—発達障害研究による知覚と身体イメージのアナザーモデル考察—
村上泰介（愛知産大）

9 日午後（15：00～16：40）

11. 3次元角度判断の精度に及ぼす角度の影響
○大島研介（神奈川大）・上村真矢（洛和会京都厚生学校）・斎田真也（神奈川大）
 12. 方向感覚と道の記憶方略の関係 大藤弘典（広島国際大）
 13. 奥行き知覚における運動視差ときめ勾配の相互作用—二つの手がかりが矛盾する場合—
○小澤勇太・玉田靖明・佐藤雅之（北九州市大）
 14. Effects of stimulus size, position, and speed on the vection induced by the optic flow projected on a floor
○Yasuaki Tamada（Univ. of Kitakyushu）・Takeharu Seno（Kyushu Univ.）
 15. アモーダル補完によってベクションの強度を変える試み
○妹尾武治・小川将樹・伊藤裕之（九大）・岡嶋克典（横浜国大）
- ◆日本バーチャルリアリティ学会；VR心理学研究委員会，日本認知科学会；知覚と行動モデリング（P & P）研究分科会共催

◎18日研究会終了後に懇親会を予定しております。

【問合先】

菅沼 睦（早大）

E-mail：mutsumi@aoni.waseda.jp